

どんなに重い障害があっても地域で共に生きる社会を目指して

ひまわり通信



illustration by 興津 彩菜 梶山 しのぶ

VOL.24
2026.07

ACTIVITY FILE 02

Fishing

～夢を釣ろう～

発行：特定非営利活動法人 ひまわり事業団
静岡障害者自立生活センター



ACTIVITY FILE 02

Fishing

～夢を釣ろう～

—— 文：鈴木香奈 デザイン：N.A

今回のチャレンジは「釣り」！！
ひまわり通信ではおなじみの
アクティビティですが、
今回は車椅子で三保海岸へ。

静岡ユニバーサルツーリズムセンターの
理事長 長橋正巳様、
副理事長 小林英之様の
強力な助けとともに、
釣り以外にも挑戦しました！！



三保海岸到着！！

ACTIVITY FILE 02
Fishing
～夢を釣ろう～



(左から 鈴木・田形)

会場は、静岡市清水区三保内浜海岸。

まず、海岸近くまで行きたいのだが、車椅子で砂浜を走行するのは容易ではない。そこで活躍するのがJINRIKIだ。私は前輪を持ち上げてもらい、わりとスムーズに走行することができた。

しかし、小久江（こくえ）は私のような簡易電動ではないうえ、車椅子の構造上JINRIKIでの走行が難しかった。職員のアイディアで簡易スロープを交互に移動させながら走行し、時間は掛かったものの、海岸近くまで辿り着くことができた。

久しぶりに広い海を眺めた。海風を肌で感じるだけで癒やされた。

6月16日（火）

釣り企画を決行することになった。
しかし、東海地方はすでに梅雨入りし、
週間天気予報ではこの日だけ晴ろうじて
天気が持ちそうだった。
私は祈る気持ちで当日を迎え、
その甲斐あってか雨は降らず、
気候もちょうどよかった。



(左から 小久江を支える劉・小林様・長橋様)



これが
JINRIKI！！
車椅子に取り付け、
引っ張って進みます！

いざ釣り開始



(小久江)



(石川)



「よーし、釣るぞー！」
小久江は誰よりも気合いが入っていた。じつは数日前、ここ三保で「幻の魚」として多くのアングラーが憧れる「オオニベ」の最大級とされる1.5メートル、30キロクラスの超大物を釣った方がいると地元新聞に掲載されたからだ。

私はといえば、これまで釣り経験はまったくないが、父や伯父が遠洋漁業や商船の船乗りだったことや、父の実家が海の目の前だったこともあり、幼い頃から海や魚が身近にあった。だから、海へ行くと自然と血が騒いでしまう。

そして今回は、釣りに詳しく月1ペースで釣りを楽しんでいる劉（りゅう）と、船釣り好きな石川にも同行してもらった。石川は、過去にマダイやカツオなど大物を釣っているそうだ。投げ釣りは初めてということだったが、2人に同行してもらえてとても心強かった。

欲は捨て、心穏やかに、波の音に静かに耳を傾けながら、ただひたすら魚を待つ…
ところが、待てど暮らせど魚が釣れない！
それどころか魚がエサに食いついた気配すらないではないか！
途中で釣り竿がしなり「ついに！」と期待したが、釣れたのは草だった（笑）。
でも、個人的にはこういうオチは嫌いではない。なんなら私は長靴あたりが釣れないかと密かに期待していたくらいだ。
そんなのんきな私とは対照的に、焦りを感じた劉は別の場所へ移動し粘ってくれた。
しかし、残念ながら一匹も釣ることができなかった。どうやら台風の影響があったらしい。
それでも、と劉は浜辺を歩いていたカニを発見。なかなか立派な体つきをしているカニだった。

モビチェアに乗ろう

ACTIVITY FILE 02

Fishing

～夢を釣ろう～



の替えを忘れたことに気付くが時すでに遅し…（笑）。しばらく海に浮かんでいると、近くであさり堀りをしていた見知らぬオジサマに声を掛けられ一緒に楽しんでくれた。こういう出会いが嬉しかったりする。

静岡ユニバーサルツーリズムセンター様がモビチェア（水陸両用車椅子）を持参してくださり、試乗させていただいた。タイヤが大きく砂浜走行も楽々。乗り心地も良かった。海辺ギリギリまで近づいた。それだけでも十分楽しめたが、私はふと思った。
「魚が釣れなかったから記事としては薄いよな…」
海の中に手を入れてみる。もうちょっと入ってみようかな。そうこうしていたら、もっと海に入りたくなってきた。そんな気分だった。着替えも持ってきたし大丈夫！
そして私は海に浮かべてもらった。

とにかく気持ちがいい！最高の気分だった。途中で下着

おわりに

今回の釣り企画を振り返り、結果は残念だったが、特に車椅子ユーザーは釣り自体を簡単に体験することができない。ましてや、今回のように海辺近くまで行くのはさらにハードルが高くなる。
小久江は言った。

「投げ釣りをしたのは幼少期以来だったけれど、ただ釣り糸を垂らしているだけでも楽しかった」と。
そう、ただ魚を待っている時間でさえ心地よかった。
次こそは釣るぞ！早くもリベンジを誓った。
最後に、今回ご協力いただいた静岡ユニバーサルツーリズムセンター様に改めて感謝の気持ちを伝えたい。
ありがとうございました。

「できるかな」が、
「できた！」に
変わる瞬間があります。
少しの工夫や支えがあれば、
楽しめることはたくさんあります。
今回の挑戦「釣り」は
そんな体験でした。



特定非営利活動法人
静岡ユニバーサルツーリズムセンター

高齢や障がいなどを理由に、「旅行に行きたいけれど不安がある」

「迷惑をかけてしまうかもしれない」と、旅や外出を諦めてしまう方が少なくありません。
静岡ユニバーサルツーリズムセンター様は宿泊施設や観光事業者、福祉・医療機関、移動サービスなどをつなぐネットワークを活かし、高齢者や障がいのある方が安心・安全に旅行や外出を楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

「誰もが旅をあきらめない社会を目指して」

詳しくはHPをご覧ください！！→



障害者グループホーム



なな〜らの始まり

13年前の4月11日、なな〜らは小鹿2丁目にあるアパートを借り、4名の入居者とともにスタートしました。徐々に人を増やしていき、今では12名の入居者の方々と共に生活しています。地域の方との交流が本格的に始まったのは2020年ごろのことでした。毎年地域で行われていた防災訓練に参加するようになり、公園の掃除や町内の催し物に声をかけていただくようになりました。地域での活動は、なな〜らメンバーの楽しみの一つです。

地域のあたたかみ

公園の清掃活動は、なな〜らメンバーが輝くイベントの一つです。毎回、一生懸命に落ち葉を掃いたり、ごみを拾い集めたりしながら、地域の公園をきれいにしています。

そんな清掃活動の楽しみの一つが、地域の皆さんとの交流です。お菓子やジュースをいただくこともあれば、お礼に手縫いのぞうきんをお渡しすることもあります。中には、毛糸をいただいたお礼として、メンバーが帽子を編んでお返ししたこともあります。

こうした心温まる交流は、メンバーにとって活動へのやりがいや楽しみにつながっています。



なな〜らの楽しみ

なな〜らでは、季節ごとの楽しみもたくさんあります。お弁当を持って近くの公園へお花見に出かけたり、少し遠出をしてアジサイやバラを見に行ったり。近くの競輪場でイベントがあれば、たい焼きを楽しみに出かけることもあります。

地域の皆さんに支えられながら、豊かな環境の中で活動するなな〜ら。

あなたも、なな〜らに来てみませんか？
なな〜らでは一緒に過ごす仲間を募集しています。



あけぼの 第一駐車場

みなさんは静岡済生会病院近くの
「あけぼの第1駐車場」
を利用されたことがありますか？

「あけぼの第1駐車場」は、小鹿通り沿いにあり、午前中は病院を訪れる多くの方で混み合う駐車場です。約100台が駐車できます。

ひまわり事業団と済生会病院の駐車場との関わりは、40年以上にわたります。現在は就労継続支援B型「それいゆ」が運営・管理を受託し、受付や車両誘導は障害のある当事者の大切な働く場となっています。

今回は、ひまわり事業団と駐車場の歩みを振り返るとともに、現在駐車場で働く皆さんをご紹介します。



ひまわり事業団と駐車場の始まり

今から45年以上前、ひまわり事業団の前身である「ひまわり寮」では、障害当事者たちが「地域でどう暮らしていくか」という課題に向き合っていました。

そんな中、協力者やボランティアの方々とのつながりから紹介された仕事の一つが、静岡済生会病院の駐車場管理です。

小鹿通りに面したこの駐車場で、当事者と支援者は試行錯誤を重ねながら仕事に取り組みました。

現在は利用者自身が駐車する方式ですが、当時は車の鍵を預かり、当事者が運転して駐車スペースへ移動させていました。

人のいる駐車場だからできること

以前は午前中になると駐車場待ちの車が小鹿通りまで長く並び、ご迷惑をおかけすることもありました。しかし、昨年（2025年）に近くへ新たな駐車場が開設され、渋滞は大きく緩和されました。

近年は無人化された駐車場が増えていますが、あけぼの第1駐車場では混雑時に誘導員を配置し、受付では担当者が直接入場券をお渡ししています。また、車椅子の貸し出しや病院受付までのご案内、「できるだけ近くに停めたい」といったご相談にも、可能な範囲で対応しています。

無人化が進む時代だからこそ、人だからこそできるサービスを大切にし、利用者の皆さまに寄り添う

「**駐車場のコンシェルジュ**」を目指しています。

誘導

こやま ゆう
小山 湧

いつも元気いっぱいな小山湧さん。

車が入ってくると「こちらですよ～」と言いながら誘導棒を振って進行方向を案内します。

車を停めたお客さんには「受付で車のナンバーをお伝えください！行ってらっしゃい！」とご挨拶します。

車に戻るお客さんには「お疲れ様でした。ありがとうございました！」とご挨拶。

駐車場コンシェルジュがここにいます。

「誘導したり、車をボックス（枠）にいたりするのが好きです！週に2日間、水金でがんばります！」



誘導

むらかみ たかのり
村上 貴則

いつも笑顔を心がけながら、「どうぞ」と優しく声をかけ、お客様をご案内している村上さん。

病院を利用される方は、これから診察を受ける方もいれば、診察を終えて帰られる方もいる。「だからこそ、少しでも気持ちが軽くなって、元気な気持ちで帰ってもらえたらうれしい」と穏やかに話す。

その思いを込めて、何より大切にしているのが笑顔と挨拶。一つひとつの「おはようございます」や「ありがとうございました」が、お客様の心を少しでも明るくできるように——そんな気持ちで、今日も温かな接客を続けている。



受付

いしぐれ だいさく
石樽 大作

Q.いつから働いていますか？

A.約2年前からです。

Q.難しいところがありますか？

A.（入場券を出す際に）ナンバーの打ち間違いや、釣銭を渡すときに金額を間違えたりして、お客様に注意されたことがあります。でも最近はほとんどなくなりました。

Q.楽しいところはどんなところ？

A.お客さんとの会話です。知らない人と話すのは楽しい。一言二言と受付で話すこともあります。あとは仕事を通していろんなことを覚えて学ぶことができるところ。

Q.これからの目標はありますか？

A.まだまだ仕事で出来ていないところがあるので、覚えていきたい。あとは、入院などで長く使う方の料金の出し方など。そういう細かいところを覚えていきたい。



45年以上にわたり
受け継がれてきた駐車場の仕事。

そこには
「地域で働き、地域で暮らす」
というひまわり事業団の
原点があります。

これからも利用者の皆さまに
安心して利用していただける
駐車場を目指し、
一人ひとりが誇りを持って
仕事に取り組んでいきます。



済生会 フェア

～地域とともに、ずっと済生会～

～ニヤカしました。



さいせい会 フェスタは多ぜいきてくめでよかった
また、バッチ作りとかポストカードの販売もよかった
あとはコンサートのおどりとか、音楽なんかも楽しかった
ぼくは特にバッチワーク、みたいたこととか、ビーゴ作りはスマイル君
とか、イルカのアクロバットとか、フラメンコ作りをやった。
とても楽しかった。また来年もみんなでがんばりたいな
か屋もサニーでおべんとうたべた。

佐野匡

さいせい会 フェスタはよかったです

バッチ作りやほかのことも

とてもよかったです 伊達昌浩



さいせいかいふア でかんばうち作ったのが楽しかった
竹下友斗

BOBho-ho (ボブホーホー)

を紹介します



星野さん



上田さん

それいゆさにいの展示やワークショップ、グッズ
デザインなど、幅広い活動に関わってくださって
いる方々です。それいゆさにいのメンバーたちと
は友達のような親しい関係で、月に1回訪問してく
ださり、みんなのモチベーションを高めてくれて
います。メンバー1人ひとりの話を聴いて、その人
の良さを理解してくれ、またメンバーの描く絵の
価値を大切に、その魅力を活かしたデザインや
展示を提案してくれています。

文字デザイン：石澤海斗・佐野匡 イラスト：佐野匡・大西佑依・寺田有里

静岡済生会総合病院にて開催された、済生会フェア
にそれいゆさにいで、くるみボタンバッチ作りのワ
ークショップを行いました。布に絵を描けるコーナ
ーで佐野さんが率先して絵を描き、その他のそれい
ゆさにいのメンバーたちは、お客さん呼び込んだり、
いつもの楽しい雰囲気会場を盛り上げてしてくれ
ました。たくさんのお客さんが足を運んでくださり、
中には久しぶりの同級生に会って、懐かしいね
なんて話に花を咲かせてました。

かんばんっち かいきおににア
た、
たのしかったよ。
ほい、たのしかったよ。





有里さんの推し妖怪：枕返し
理由：イタズラが面白い
大好きなケロリンとコラボした
目玉のオヤジのイラスト入り桶
を迷いなく購入しました！



塗り壁は、じーっと見ている
と瞬きをしていました！



さにいで待望の水木しげるの百鬼夜行展に行ってきました！チラシが
出始め、みんなで行きたいねと話していた時に、誰よりも楽しみにし
てたのは寺田有里さんでした。けれども、行こうとした日に雨になり
来週こそは晴れてくれと願いながら、やっと4度目の正直で行けまし
た！梅雨の季節ですね。

当日は、車の中で妖怪の歌ををひたすら歌って、気分を上げて美術館
へ。水木しげるの幼少期のエピソードや、日常に潜む妖怪たちをじっ
くりと見ていきました。それぞれお気に入りの妖怪を見つけて、「こ
れこれ！」と指を差して教えてくれました。



伊達さんの推し妖怪：ぬらりひょん
理由：何となく、自分と近い感じがする



それいゆの畑で
野菜が採れました！



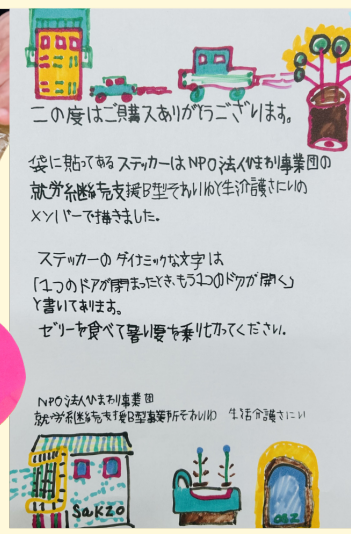
毎日のラジオ体操！
休み時間にボール遊びもしています。

それいゆさにいで熱中症対策ゼリーを販売しています。

株式会社セイナンアート様（以下セイナンアート）から依頼さ
れ、それいゆさにいで熱中症対策ゼリーに貼るステッカーのイラ
ストを描きました！このダイナミックな文字は青木秀敏さんが描
き、スペイン語で「1つのドアが閉まった時、もう1つのドアが
開く」という意味があります。熱中症対策ゼリーはセイナンア
ートが企画をして、愛知県のお菓子メーカーの有限会社坂製菓様と
共同して作ったそうです。

《食べた人の感想》
甘じょっぱくて美味しい。最後にりんごの味がしました。

購入してくれた人にイラストや
メッセージを書きました！



おれの手紙の文字デ
ザインを担当したの
は小山湧さん！

イラスト：小林美保 文字デザイン：石澤海斗 文・デザイン：関口美月

チームコハルの 一人暮らし体験

ヘルパーボランティアを募り、3/27.28（金・土）で、4回目の一人暮らし体験を行いました。
チームコハル三交代制で5名の学生さんが参加してくれました。
今回は介助未経験の方が多く、私が0から介助のやり方を教えました。



②20:30～翌9:00（泊り）

まずはお風呂に入りました。ヘルパーさんが3人いたので浴槽2人、洗面1人という介助の振り分けをしました。浴槽の2人には体を洗ってもらい、洗面の1人には体を拭いて着替えさせてもらいました。車椅子への移乗は安定して乗せ降ろしをしてもらうことができました。その後、布団を敷いてもらい、寝るまでみんなでテレビを見たりお喋りしたり楽しい時間を過ごすことができました。



①15:00～19:30（買い出し～夕飯）

仕事終了後、ひまわり事業団に集合し、近くのマムヘタ飯の買い出しに行きました。準備していた献立メモを参考にヘルパーさんと買い物しました。予算より安く済みました。

今回はガーリックライスとたまごスープを作りました。野菜を切ったり卵を割ったりなど色々な工程に挑戦しました。炒める工程は私には難しいと判断し、ヘルパーさんに依頼しました。卵は何回か割っていくうちに上手になりました。失敗はありましたが、何とか食材を使い切ることができました。美味しく作ることができてよかったです。夕飯では食事介助をしてもらい、みんなで楽しくお喋りして食べました。

片付けした後、次の時間まで1人でiPadやテレビで過ごしました。



朝は7:30に起き、着替えやメイクなどをやってもらい、掃除や洗濯をやりました。動いてたらタイヤの動きがおかしいことに気づき、タイヤを見てもらったら、なんとパンクしていました！すぐに母や車椅子業者に電話で相談し、自転車屋さんで修理してもらうことになりました。その時もヘルパーさん達が私の代わりに動いてくれて無事タイヤも直りました。想定した時間より1.5時間も延長してくれました。また洗濯機の脱水ができなかったり、トラブル続きの朝でした。全てに対応してくれたヘルパーさん達に感謝しています。

③10:30～15:30（外出）

③の時間帯は学生ヘルパーさん1人で行いました。この学生さんは毎回参加してくれるので、私の介助も慣れていました。

11:30にようやく外出スタートできました。3月末で暖かく、森下公園にあるお弁当屋さんで唐揚げ弁当を買って公園で食べました。とても美味しかったです。公園にはチューリップが咲いていて春を感じられました。ピクニックしたあとは松坂屋で買い物し、最後にスタバでティータイム、楽しくお喋りしました。別れる前にトイレ介助をしてもらい、終了しました。介助も安定して安全にできました。

今回の体験はアクシデントもありましたが、ヘルパーさん達のおかげで、楽しい2日間となりました。



ヘルパーボランティアさんの感想

私は介助が初めてで不安でしたが、小桜さんが全て教えてくれたので難しいことは特になかったです。お話もたくさんすることができて楽しかったです。

F.N.さん

どう動いたら良いかわからないこともありましたが、こはるさんが優しく教えてくださったので、楽しく1日過ごすことができました。ありがとうございました。

H.M.さん

初めての経験が出来たこと、こはるさんと楽しく生活を出来たことがとても良かったです。

K.M.さん

初めての体験で、最初はとても緊張していましたが、コハルさんが明るく接して下さったおかげで、安心して取り組むことができました。分からないことも丁寧に教えていただき、楽しくボランティアを行うことができました。また、卵を割る場面などでは、最初はうまくいかなくても、回数を重ねるごとに上達していく様子を見ることができ、とても印象に残りました。少しずつできることが増えていく姿に、成長を感じることができて良い経験になりました。

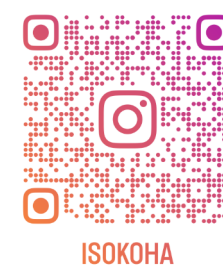
普段一人だと行かないようなところに連れて行っていただけてとても楽しかったです。トイレの介助は教えていただいて勉強になりました。一人でできた自信になりました。イレギュラーも起こりましたが、それも笑い飛ばしてコハルさんとたくさんお話できて楽しかったです。ありがとうございました。

K.S.さん

isokoha

電動車椅子女子のリアルな日常
静岡 | グルメ・おでかけ・旅
車椅子で実際に行了たお店を紹介
行ってみたい気持ちを後押ししたい

私生活はこちら→



とおる の とーく



とおる→徹には貫くとか貫き通すという意味がある。

そして、ぼくの名前の由来でもある。

何事も最後までやり抜く人になるように、とつけたそうだ。

頑固一徹という四字熟語もあるけれど、たしかに頑固ではある、らしい。でもって母たちが望んだ人間に、ぼくは

なれただろうか？自分の名前を結構気に入っている。

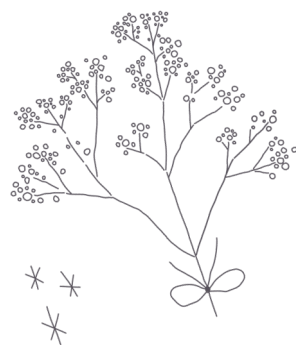
呼びやすさも手伝ってか、昔の仲間は名前で呼んでくれる。

やはり、名前で呼ばれると嬉しい。

三連休が明けてソメイヨシノの開花が早かったな。静岡まつりのころ、満開になる。楽しみにしていたのに、あいにく四日は雨で行くのやめちゃった。駿府公園の堀端の桜って好きです。桜には水面（みなも）が合います。桜にも寿命があるらしく、言われれば花の付きが少ないですね。倒木もありましたね。そんな桜が葉桜になると一雨ごと暖かくなります。で、梅雨になりいの、アジサイをめでたらむしむしの向こうに
いよいよ夏だ。

夏日に真夏日や猛暑日に酷暑日という新語が加わり、くそ暑いと文句が当たり前になったが、ホルムズ海峡の封鎖で今年の夏は節電の夏になりそうですね。

13年、このアパートに住んだ年月だ。今年に入って、テレビが壊れ、ハードディスクがクラッシュして買い替えた。どうも、家電などは、十年で不具合が出てくるみたいだ。で、新しいハードディスクだが、操作を覚えるのに一日がかり。どうも、いらない機能が多すぎる。番組の録画と再生があれば事足りる。ビデオテープ時代のベータマックスはよかった。シンプルだった。某ソニーは良いメーカーだった。



週1~
OK!!

高時給

各種手当
あり

▶WEBで詳細を見る

☎054-287-1230
お気軽に電話ください



発行：特定非営利活動法人 ひまわり事業団
静岡障害者自立生活センター
機関紙編集委員会 代表：鈴木香奈

〒422-8006 静岡市駿河区曲金 5-4-58

TEL：054-288-6068 FAX：054-287-4922

Email：himawari@scil.jp HP：https://www.scil.jp